

1. 形式

投稿原稿は日本語とする。用紙設定はA4版ヨコ書き、24字×48行の横二段組とし、マージン上下25.4mm左右19.05mmとする。フォントについては、明朝10.5ポイントとする。

2. 原稿の構成

2-1. 論文

表紙、本文（要旨、キーワード、図版、図表、注含む）、参考文献。20ページ以内を目安。

2-2. 研究ノート

表紙、本文（要旨、キーワード、図版、図表、注含む）、参考文献。14ページ以内を目安。

2-3. 資料紹介

表紙、本文（要旨、キーワード、図版、図表、注含む）、参考文献。6ページ以内を目安。

2-4. 書評

表紙、編・著者名、書名、副題、出版地、出版社、刊行年、総頁数、定価、本文（図版、図表、注含む）、引用文献、本の表紙写真。4ページ以内を目安。

3. 表紙

原稿には表紙をつける。表紙には論文、研究ノート等の種別、日本語タイトル、英語タイトル、日本語要旨（600字以内）、英語要旨（300語以内）、キーワード（5語以内）、日本語著者名、英語著者名、所属、住所、電話番号、E-mailアドレス等を必ず記入すること。

4. タイトル

タイトルに副題を付ける場合は、「主題 ー副題ー」のように、主題の次に全角スペースをあけ、全角ハイフンにて副題を挟んで表記する。英語タイトルでは、主題に続けて改行して副題を添える。

5. 本文

5-1. 章立て

章立ては1., 2., 3. …, 節立ては1-1., 1-2., 1-3. …とする。数字は半角で、数字の後に.（全角）を付ける。 .（全角）の後にはスペースを空けず、章・節のタイトルをゴシック10.5ポイントで記載のこと。

5-2. 句読点

本文、注、図表・写真キャプションで用いる句読点は、「、。」とする。ただし、英数字で表記する箇所に関しては、句読点を「, .」（いずれも半角）とする。

5-3. 数字、ローマ字、記号・符号

数字は原則として算用数字、半角を用い、記号や符号は慣用に従う。

5-4. 日本語以外の外国語

原則としてローマ字表記で記載すること。

5-5. 文献引用

本文中で文献に言及する場合は、カッコ書きで（著者姓（半角スペース） 刊行年：頁数-頁数）のように示す。（大矢 2017:10-11）,（新田・大矢 2026）,（川井ほか 2026）,（Batchelor 1892:100-101）,（Hann and Thomas 2005）,（Evershed *et al.* 2008）,（松村 1924；金田一 1948）のように書く。

5-6. 図・表・写真

執筆者自身が作成した電子データを、そのまま使用する。視認性に十分配慮し、不鮮明な写真や極端に小さい文字の使用は避けること。ただし、ファイルサイズが過度に大きくならないよう留意すること。キャプションはゴシック 9 ポイントとし、図・写真の場合は下、表の場合は上につける。写真は必要最小限に留め、必要なトリミングや加工を済ませて、画像ファイルの形式（JPEG 等）にすること。

5-7. 注

ワードの脚注機能によりページ下部に通し番号で挿入し、明朝 9 ポイントとする。

6. 参考文献

参考文献リストは明朝 9 ポイントで、論文末に一括作成し、配列は著者名のアルファベット順か五十音順とする。記載は以下にならう：

6-1. 和文の雑誌論文

著者氏名，発行年，「論文名」，『誌名』，巻（号）：頁数の順とする。

例)

大矢京右 2021 「児玉コレクションのトンコリ」『市立函館博物館研究紀要』 31:1-5.

吉川和希，大矢京右，木村健一，川嶋稔夫，迎山和司 2017 「バイダルカ・プロジェクションマッピング：文化財への直接映像投影による展示効果の向上」『画像電子学会誌』 46(1):170-173.

6-2. 外国の雑誌論文

著者氏名，発行年，論文名，誌名，巻（号）：頁数の順とする。論文タイトルの最初の単語のみ大文字で始める。雑誌名はイタリック，雑誌名の後に，は打たない。

例)

Evershed R. P., S. Payne, A. G. Sherratt, M. S. Copley, J. Coolidge and M. M. Burton 2008 Earliest date for milk use in the Near East and southeastern Europe linked to cattle herding. *Nature* 455: 528-1481.

6-3. 和文の単行本

著者氏名，発行年，『書名』，出版社，出版地. の順とする。

例)

佐々木史郎，北原モコットウナシ 2024 『最新アイヌ学がわかる』 A&F，東京.

6-4. 和文の単行本の一章を引用

著者氏名，発行年，「章のタイトル」，編著者氏名（編），『書名』，出版社，出版地，頁数の順とする。

例)

大矢京右 2022 「辨開胤次郎」 関根達人，菊地勇夫，手塚薫，北原次郎太(編)『アイヌ文化史辞典』吉川弘文館，東京，260-261.

6-5. 外国の単行本

著者氏名，発行年，書名，出版社，出版地の順とする。

例)

Ryder M. L. 1983 *Sheep & Man*, Gerald Duckworth & Co. Ltd., London.

6-6. 外国の単行本の一章を引用

著者氏名，発行年，章のタイトル，編著者氏名，書名，出版社，出版地，頁数の順とする。

書名はイタリックとする。

例)

Efstratiou N. 1999 Pastoralism in highland Rhodope: Archaeological implications from recent observations. In L. Bartosiewicz and H. J. Greenfield (eds.), *Recent Perspectives from Archaeology History and Ethnology*, Archaeolingua Alapítvány, Budapest, 145-158.

6-7. 翻訳本を引用

著者氏名，発行年，翻訳者氏名(訳)，『書名』，出版社，出版地. の順とする。

例)

大貫恵美子 2021 阪口諒(訳)『樺太アイヌ民族誌：その生活と世界観』青土社，東京.